



聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者 中西廣義兄 奏楽者 渡邊頼子師

讃美 主の祈り	新145	栄えに満ちたる	—	同
讃美 交読	新467	世の終りのラッパ	—	同
祈 報	詩 篇	138 : 1~8	—	同
聖 説	書	Iテサロ4 : 13~5 : 11	司 会 者	
献 頌	金 新470	懐しき住まい	中川彦市兄	
祝	新 63	父、御子、御霊の	(起立)一同 渡邊貞雄師	

こうして私たちは、いつまでも主
とともにいることになりました。
Iテサロニケ四・一七

受 = 中川 姉 / 操 = 山口 姉 / A = 福田 姉 / 報 = 牧 師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任 牧師 渡邊 貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊 頼子



2022年10月30日 VOL. 46-44 No. 2400

URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 今週から11月に入ります。また「文化の日」(3日)の祝日もあります。寒さや年末にも徐々に備えさせていただきましょう。
- ▼ 明31日(月)夜は、「COG第8回教役者生涯対策プロジェクト会議」(ZOOM)が持たれます。
- ▼ 山口兄は今週3日(木)に再入院され、4日(金)に手術を受けられます。主の守りをお祈りください。
- ▼ 阿部和子宣教師は、明31日(月)に羽田からメキシコに向か

われます。特にご健康のためにお祈りください。

- ▼ 今週の3日(木)と5日(土)の両日に、「JOMA—世界宣教フェスティバル」が開催されます。詳細は別紙か掲示板をどうぞ。参加無料/要・申込み(締切:明日まで)。



にれ はみ

2022年10月23日
聖日礼拝
Iテサロニケ1:1~10
「力と聖霊と強い確信で」
説教 渡邊貞雄 師



テサロニケ教会は、パウロの第二回伝道旅行により三週間という短期間の働きで生み出された教会。

I、主の働きの三要素

彼らの働きは神に対する ①信仰から出た働き ②キリストの望みによる忍耐 ③愛から生まれた労苦、という三要素からなっていた(3)。初代教会には確かなマニュアルはなかったかも知れないが、パウロはこの三要素を強調していたのは事実(Iコリント13:13)。

テサロニケ教会のクリスチャンライフとは、この3つのもの、信仰、希望、愛で守られ強められた宣教による教会建設で堅固にされていった。

II、福音の三要素

それは ①力 ②聖霊 ③強い確信、であった。5節の冒頭には「ことばだけでなく」とある。言葉は大切な福音の武器で「口角泡を飛ばす」ほどパウロが語っても、相手に届かない壁を感じたに違いない。この神からの力と聖霊と深く頷く信仰の確信があったのだ。

パウロは他でも福音は力であると語った。ローマ1:16、Iコリント1:1、使徒1:8、等々。この「力」

とは「デュナミス」で、「ダイナマイト」に付けた名前である。福音はこの聖霊による力によって、人々の心に深く働き続けたのだ(新聖歌266番 罪とがをゆるされ 参照)。

III、信仰の三要素

①「神に愛され…選ばれている」(4) ②主に倣う者となった(6)。③「信者の模範になった」(7)とある。彼らは心の素直さと柔らかさに満ちて、みことばを受け入れてパウロに倣い、またパウロが倣った主に倣った。しかも根底は「苦難の中で、聖霊による喜び」(6)に満ちていた。

テサロニケの信者は、パウロに倣っていたのに、いつの間にか他の人から倣われるほどの者となっていた(7)。これは何とすばらしい証しではないだろうか。

テサロニケ教会のこの豊かな働きは、マケドニアとアカイアに福音が響き渡るほどになった(8)。

ヨーロッパにキリスト教が今日あるのは、テサロニケ教会のクリスチャンたちに、この様な証しと輝きと響き渡る信仰があったからと記憶しよう。

世界のニュース



◎テッサロニキから
ストックホルムまで
ポーンマス、シュトゥツ

トガルト、バレンシア、ベルン、インスブルック、ソフィア、コペンハーゲンなどヨーロッパの数十都市で、「ウォーク・フォア・フリーダム2022」の行進が、現代奴隷制の隠されがちな現実を通行人に見えるようにしようと行われた。

専門ニュースサイト「エヴァンジェリカル・フォーカス」が10月17日報じた。—中略—

行進に参加した人たちは、黒い服を着て、「路上で物乞いをさせられている6歳の子どものために歩きます」、「家事労働の犠牲になっている70歳の女性のために歩きます」、「奴隷制度を廃止せよ、どこでも、永遠に」などといったメッセージを表示した看板を持って街の中心部を列をなして行進した。

◎10/26 (水) 祈禱会「ペテロの十字架とは」

渡邊師 I ペテロ2:21~24

教会はイエス・キリストと十字架が中心である。主が弟子たちにご自分が「多くの苦しみを受け、殺され…」と語られた時、真っ先に反応、反対したのはペテロであった。

それから約30年が経過した。この手紙でペテロは、かつての十字架否定派から、肯定派に変わり、以前は反論した自分に対して、今は自分が反論している。

◎シンガポールが「社会分断の恐れ」

シンガポール発AFP=時事通信によると、シンガポール当局は、宗教と性的少数者(LGBTQ)を題材にして、今夏に米国の映画祭で上映された映画について、「社会分断」を招きかねず「指針を逸脱している」として国内での上映を認めない決定を下した。監督官庁の情報通信メディア開発庁(IMDA)が10月17日発表した。

◎教皇、11月中旬にイタリア北部訪問

教皇フランシスコが、11月19日と20日の2日間、イタリア北部ピエモンテ州アスティを訪問されることになった。パチカン・ニュース(日本語版)が報じた。

教皇公邸管理部の発表によれば、11月19日(土)午後、教皇は自身の従姉妹の90歳の誕生日を機会にアスティを訪問。親族らと私的な会いを行われる。

主の十字架の苦しみは、私たちに①罪の赦しを与え、②神と和解し義に生きる者としたのだ(24)。だからこそ私たちは、主にあってきよい生き方を選び取って生き、歩む者とされたのである。感謝して進もう。



「今後の集会予定／教会情報」

◎11/ 2 (水) 定例祈禱会 (PM7:00)
(ZOOMによる祈禱会)

◎11/ 5 (土) 清掃奉仕 (AM9:30)

◎11/ 6 (日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆ 祈禱会 (司) 幸子姉 (説) 頼子師

● 来週礼拝 I テサロニケ5 : 12 ~ 28

● 主 題 「喜び・祈り・感謝」

定期集会のご案内

◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45

◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00

◇ 早天祈禱会 (火土) 朝6:30~7:00

◇ 祈 禱 会 (水) 午後7:00~8:15

来週 の 奉 仕 者

◎ 礼拝司会 渡邊師

◎ 礼拝奏楽 頼子師

◎ 礼拝献金 真理姉

◎ 受 付 岡山姉

▽ 教会学校 随 時

▽ ヤ ン グ 随 時

▽ ア ハ ン な し

▽ ホ レ ブ な し

▽ 教会ナビ 随 時

▽ 昼食当番 な し

▽ アッシャー 小坂姉

▽ S S 入力 頼子師

▽ P P T 操作 中川兄

《《《2022年 松阪教会スローガン「一歩前にある恵み！」》》》 「足の裏で踏む場所はことごとく、すでに…与えている」(ヨシュア1・3)

●人間の二つの大きな罪は短気と怠惰である。この二つの罪から他のあらゆる罪が発生する。短気のために人間は天国から追放され、怠惰のために彼らは天国へ帰らない。恐らくただ一つの

大罪は短気であろう。短気のために彼らは追放されたのであるが、短気のためにそこへ帰らないのである。
F. カフカ(プラハ:小説家)



礼拝の心得

①聖書のヨハネ4:24には以下の様に勧められています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」



②始まる時間と、5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。

③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。

④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。

⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心からの喜びをもっておさげしましょう。

⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。

⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。